

「虹色」の社会をめざして

国際基督教大学ジェンダー研究センター(CGS),
21世紀COEプログラム, C-Week, Sumposion 主催

尾辻かな子(大阪府議会議員)

2006/05/23

本日の流れ

- 性的マイノリティに関する基礎知識
- 当事者の思い(ライフヒストリーを交えて)
- 日本における課題
- 課題の解決に向けて

虹はLGBTのシンボル

- 6色の虹は、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)のシンボル
- 「性の多様性」を表している
- 1970年代末 アメリカで考案
- 赤、橙、黄、緑、青、紫の6色



2

性的マイノリティと呼ばれる人たち

英語	読み	意味
Lesbian	レズビアン	女性の同性愛者
Gay	ゲイ	男性の同性愛者
Bisexual	バイセクシュアル	両性愛者
Transgender	トランスジェンダー	性別越境者 GID(性同一性障害者)も含む概念
Intersexual	インターセクシュアル	半陰陽者(先天的に、染色体や性器の形状等が典型的な男女ではない人)
Questioning	クエスチョニング	上記のいずれにも属さないが、典型的な男女ではないと感じている人
Asexual	アセクシュアル	性的指向を持たない人
Queer	クイア	もともとは「変態」という意味だが、その蔑称を逆手にとって自称することで、肯定的に用いられる

3

性はグラデーション

- 性は 男/女 の2つだけではない

		女	男
sex	身体的な性(染色体、性器の形状、乳房の有無等)	← [Smiley Face] →	
gender identity	性自認(心の性、自分の思う性別)	← [Smiley Face] →	
sexual orientation	性的指向(誰を好きになるか)	← [Smiley Face] →	

- 性同一性障害者と同性愛者の違い
- gender=社会的な性役割(服装、言葉遣い等)

4

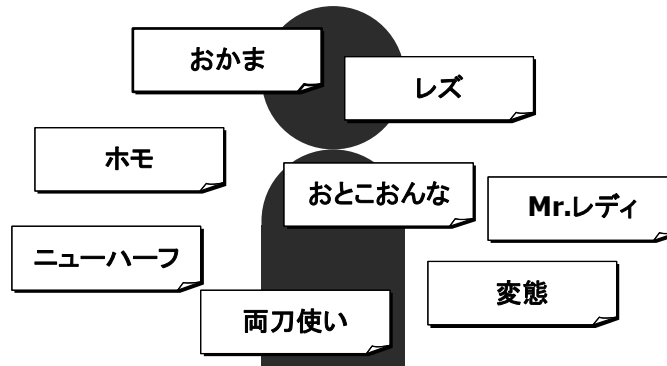
同性愛に関する医学的な見解

- 19世紀～20世紀の医学者等は、同性愛を「異常性欲」「性倒錯」等として、治療や研究の対象にしていた
- 1973年、アメリカ精神医学会が、精神障害診断基準であるDSM-IIの第7版から「同性愛」という診断名を削除
- 1990年5月17日、WHO(世界保健機構)が、国際疾病分類(ICD)改訂第10版で、「同性愛はいかなる意味でも治療の対象とはならない」ことを決定(出版は93年)
- 日本では、1994年12月に当時の厚生省がICDを公式基準として採用し、1995年1月にやっと日本精神神経医学会がICDを尊重するという見解を出した

5

呼び方に注意してください

- 当事者の多くが不快に感じる表現があります



6

カミングアウトした著名人

- ゲイ、レズビアン、バイセクシュアルだとカミングアウトした人たち
- 参考 <http://gayinfo.tripod.com/> (英語)

■ 日本

笹野みちる(歌手)、美輪昭宏、おすぎとピーコ、前田健、KABAちゃん(タレント)、淀川長治(映画評論家)、橋口亮輔(映画監督)、三島由紀夫(作家)、池田久美子(教師)...

■ 海外

イアン・マッケラン(ロード・オブ・ザ・リングのガンダルフ役)、レスリー・チャン、アンジェリーナ・ジョリー(俳優)、マドンナ、ジョージ・マイケル、エルトン・ジョン、フレディ・マーキュリー(歌手)、キース・ヘリング、ミケランジェロ(画家)、トーベ・ヤンソン(ムーミンの作者)、ナブラチロフ、モレスモ(テニス選手)、ハーベイ・ミルク(議員)、レナード・バーンスタイン(指揮者)、チャイコフスキー(作曲家)、ソクラテス、フーコー(哲学者)...

※下線は女性

いろんな分野で活躍している人がいます



7

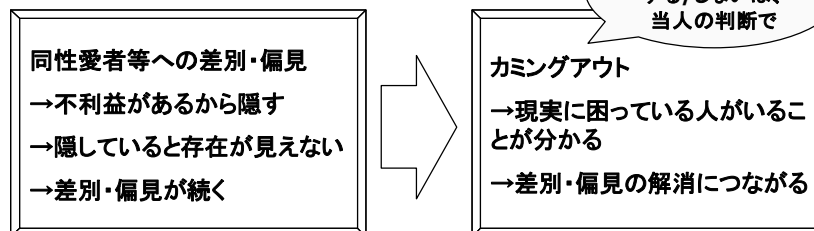
同性愛者は人口の数%

- 同性愛者は、人口の3%~10%と言われている
 - 2004年アメリカ大統領選挙で、CNN等が行った出口調査では、約4%の人が「自分は同性愛者だ」と回答
 - 4%だとすれば、日本では500万人いる計算になる
 - 1994年に筑波大教授らが行った日本の若者、約2000人に対するアンケート調査では、「同性に対して性的にひかれた経験がある」20.2%、「同性に性的興奮を感じ、身体を触れ合った」10.1%
 - 宗像恒次編著「青少年のエイズとセックス」日本評論社
- 世界がもし100人の村だったら
 - 「90人が異性愛者で 10人が同性愛者です」
- こんなに多いのに、目に見える存在になっていない

8

カミングアウトの意味

- カミングアウト(coming-out) = 同性愛者等であることを公表すること



9

ライフヒストリー 1/2

- **1974年** 大阪府生まれ 父・母・兄の3人家族
- 中学校でのいじめ
 - 「尾辻は中性」→「人と違ってはいけない」という思い
- **18歳**、自分は同性愛者なのだろうか悩み始める
 - 「レズ(ビアン)なんかじゃない」と自分を否定し続ける
 - 「この気持ちを認めたら、大変なことになる」
 - 「どうやって確かめたらいいのか？」→「都会に行こう」
- **20歳**、阪神・淡路大震災に被災
 - 「いつ死ぬか分からない、後悔したくない」

10

ライフヒストリー 2/2

- **23歳**、自分へのカミングアウト
 - サークルの先輩に初恋「これは友情じゃない」
 - 「振られ続ける人生なんてつらい」→半年悩んでイベントへ
 - 「一人じゃなかった！」「私はわたしでいいんだ」
- 浮かんできた疑問
 - 「なぜ名前や住んでいる場所を隠さなくてはいけないのか？」
 - 本やインターネットから正しい知識を得る
 - 「これは私たちの問題じゃなく、社会の問題なんじゃないのか？」
- 政治への興味
 - 議員インターンで、政治への興味を深める
 - 2003年4月、堺市で立候補、府議会議員に初当選
 - 「私と同じ思いを、これからの人たちに味わって欲しくない」
 - 2005年8月、東京のパレードでカミングアウト

11



日本の法律上の取り扱い

- 性的指向による差別等を禁止する法律は、日本にはない(廃案になった人権擁護法案に記載あり)
- 婚姻は、憲法24条で「両性の合意」によるものとされているので、同性同士の結婚はできない
- 法務省人権擁護局は12月に実施している人権週間の「強調事項」として、「性的指向による差別」及び「性同一性障害を理由とする差別」を明記しているが、具体的な施策はない

14

こころの中の問題

- **同性愛嫌悪/恐怖症(ホモフォビア homophobia)**
 - 同性愛者等の悪いイメージ
 - 「気持ちが悪い」「理解できない」「違和感がある」
 - なぜ当事者に会ったこともない人までもそう思うのか？
 - マスコミで作られるホモフォビア 「禁断の愛」「ホモ疑惑」
 - よく知らない、自分とは違う考え方を排除するのは「こころのクセ」
 - 当事者の中にもあるホモフォビア
 - 自分でも認められない「自分は同性愛者なんかではない」
 - 隠そうとする「同性愛者だと思われたくない」「隠しておきたい」
 - 自己受容・自己開示できないことが、当事者の自尊心を傷つける

15

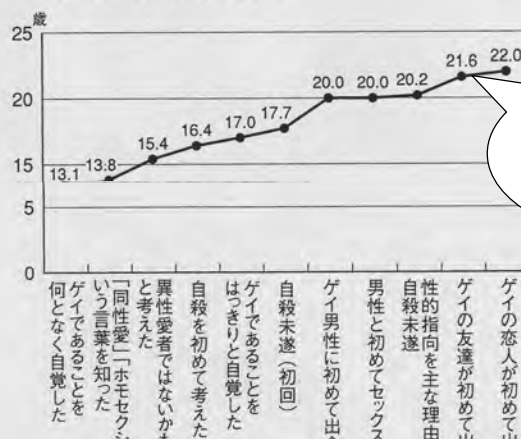
子どもたちの抱える問題

- **LGBTの子どもたちの抱える生きにくさ**
 - 「ホモ・おかま」といった言葉によるいじめ被害(59.6%)
 - 自殺を考えたことがある(64%)、自殺未遂の経験がある(15.1%)
 - ゲイ・バイセクシュアル男性の精神的健康に関する調査(1999年日高)
- **カミングアウトしている大人が少ない→ロールモデルがない**
 - 「どうやって生きていけばいいのか?」「幸せになれるのか?」
- **LGBTの子どもたちの自殺率は異性愛者の数倍(アメリカ)**
 - 各高校、大学に部活動を組織 **GSA=Gay-Straight Alliance**

16

学校の中の孤独

図1 思春期におけるライフイベント平均年齢
(有効回答数1,025人)



学齢期を含む13歳
から20歳までの間、
一人で悩み続けている
のが現実

ゲイ・バイセクシュアル
男性の精神的健康に
関する調査
(1999年日高)

17

異性愛しかないという前提

教育現場では、異性愛のことは教えても、同性愛のことには触れないことが多い。異性愛しかないという前提で話をされると、LGBTの子どもたちは深い疎外感を抱く。



好きな異性がいるのが自然なことなら、好きな同性がいる自分は、不自然で異常な存在なの？

異性愛しかないという前提のもとで作られている社会を「強制異性愛社会」と呼びます。

18

もしもの時の不安

- 同居する際に、住居を探すのが困難。公営住宅法第23条により、公営住宅に同性カップル等と一緒に入居することはできない。民間の賃貸住宅でも、入居を断られるケースが多い。
- パートナーが死亡の際、遺産や共有財産の相続権がない。
- 病院での看護・面接や治療への同意ができないことがある。
- 社会保障・税制等における不利益がある。民間でも、金融機関との取引や、生命保険の受取人指定が認められないことが多い。
- 地域社会とのつながりが薄いと、地震等の災害時に救助されない恐れがある
- 同性愛者等を標的とした憎悪犯罪(ヘイトクライム)が発生しており、殺人事件も発生している。

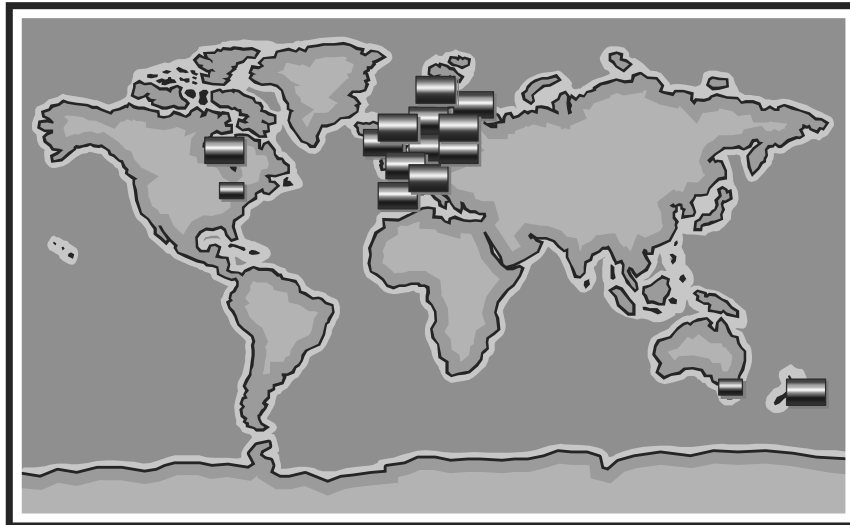
19

同性パートナーの法的保障

- 海外では、同性パートナーの諸権利を法的に保障する流れ
 - 同性婚
 - オランダ、ベルギー、スペイン、カナダ
 - 婚姻に準じたパートナー制度
 - アメリカの一部、ドイツ、フランス、イギリス、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、ハンガリー、ポルトガル、スイス、アイスランド、オーストラリアの一部、ニュージーランド、チェコスロバキア等

20

同性パートナーの法的保障がある国



21

同性愛が罪になる国

- 同性間の性行動が非合法とされている国は、81カ国
 - サウジアラビア、スーダン、モーリタニア、ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタン、イラン、アラブ首長国連邦、イエメン の9カ国では死刑になる
- 死刑になった少年たち(イラン)
 - 2005年7月、2人の少年が公開の絞首刑に
 - 同性間の性行為が刑の理由
 - 14ヶ月間を拘留され、228回むち打ちが行われた
- 日本は難民申請を却下
 - イラン人でゲイのシェイダ氏が、難民申請を行った
 - 彼は国連が認定したマンデート難民であったにもかかわらず、2004年2月、東京地裁は「公然と同性間の性行為をしない限り刑事訴追される危険性は相当低く、迫害を受ける恐れがあるとは言えない」と判断
 - 結局、シェイダ氏はヨーロッパの第3国へ出国
 - 詳細 http://www.sukotan.com/shayda/shayda_top.html



22

府中少年の家裁判

- 1990年2月、動くゲイとレズビアンのか(通称アカー)が「府中青年の家」を利用した際に、他の利用者から嫌がらせを受け、次回の利用を断られる、という事件があった
- 1991年2月、東京都に対して損害賠償を求める裁判を起し、同性愛者の青年の家宿泊利用の是非を問うた
- 裁判は、1997年9月16日、アカー側の勝訴で確定

■東京地裁の判決文

東京都が「90年当時は正確な知識」がなかったので「拒否判断は仕方がなかった」とした点について、「行政当局としては、少数者である同性愛者を視野に入れたきめの細かい配慮が必要で、同性愛者の権利・利益を考えなければならない。そうした点に無関心であったり、知識がないということは、公権力の行使者として、当時も今も許されることではない」と、行政を強く批判する異例の判決になった

23

当事者たちの活動

- 選挙立候補予定者へのアンケート調査
- パレード(東京、札幌、京都)
- 映画祭(東京、関西、札幌、香川)
- HIV/AIDS予防啓発イベント(東京、大阪、名古屋等)
- 電話相談、ピア・カウンセリング
- 当事者団体の運営、活動場所の提供

24



家族への支援

- 家族が同性愛者等であることが分かったときの戸惑い
 - 自らを責める
 - 「家庭環境が悪かったのではないか」
 - 「育て方が悪かったのではないか」
 - 社会からの疎外感
 - 「世間(親族、近所等)に顔向けできない」
 - 「誰にも相談できない」「隠さなければならない」
 - 当事者を責める
 - 「頭がおかしくなった」「病院で治療してもらわないと」
 - 「出て行け、勤当だ」「もう学費等の金銭的な援助はしない」
- 家族にも正しい知識と仲間が必要
 - 海外 Parents, Families & Friends of Lesbians & Gays (PFLAG)
 - 日本 当事者団体が親の集いを開催

26

HIV/AIDS(エイズ)の問題

- 感染者は増え続けている
 - 日本では、20代・30代の若者を中心に、HIVに感染する人が増え続けている(2006年1月時点で、累計7,338件 薬害を除く)
 - 2005年の新規感染者の約64%がゲイ・バイセクシュアル男性
 - ゲイ・バイセクシュアル男性に向けた予防・啓発活動が重要
 - 1980年代アメリカの悲劇→「Silence=Death」

■ HIV/AIDSとは?

性的接触、母子感染、血液感染等によるHIV(ウイルスの1種)感染→6ヶ月～15年の潜伏期間
→AIDS(ヒト免疫不全症候群)発症
現在は新薬開発が進んで死亡率は下がっているが、
ウイルスを完全になくすことはできない



27

性同一性障害者の抱える問題

- 健康保険証に性別記載欄があるために、病院に行きにくい。また、記載された性別に適合した治療でなければ保険適用されないことがある。
- 投票所入場券に性別記載欄があるために、選挙に行きにくい。
- パスポートに性別記載欄があるために、海外旅行の際のパスポートチェックに時間がかかる。
- 性別適合手術に保険適用がないため、数百万円のお金がかかる。
- 正社員になるには住民票等の提出が必要なので、望む性での就職が困難。
- 「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の条件が厳しいため、多くの当事者は性別の変更ができない。

28

GID特例法の問題点

- 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律(2004年7月16日施行)
- 性別変更には厳しい条件を満たす必要がある
 - 20歳以上であること
 - 現に婚姻をしていないこと
 - 現に子がいないこと
 - 生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること
 - その身体について他の性別に係る身体の性器に係る部分に近似する外観を備えていること
- 特例法には、施行後3年を目処に「必要があると認めるときは」見直しを行う旨が付記されているので、是非見直しを行うよう働きかけを

29

少数者の人権をどう守るか？

- 多数派が少数派の人権を決める？
 - 2004年11月 アメリカの住民投票
 - 11の州で、大統領選挙と同時に「州憲法修正による同性婚の禁止」を問う住民投票が実施され、すべての州で可決された
- 無関心の問題
 - キング牧師 「この社会の変動期における世界最大の悲劇は、悪人たちの暴言や暴力ではなく、善意の人びとの不気味な沈黙と無関心であった、と歴史に記録されるべきだろう」
 - マザーテレサ 「愛の反対は憎しみではなく無関心だ」

30

議員としての活動

- 行政のしくみを変える活動
 - 性別記載欄削除キャラバン
 - 当事者団体から行政への要望書提出に立ち会う
 - 「性的指向による差別を受けている人々の人権擁護施策の推進に向けた要請書」血縁と婚姻を越えた関係に関する政策提言研究会, 2005
 - 大阪府住宅供給公社でのハウスシェアリング制度
- 世論をつくる活動
 - スピーカーとして各地で講演
 - 当事者や当事者団体の活動を支援

31

2005年9月議会の成果

■ 代表質問で、「多様な家族への対応」を求めた

質問	行政側の答弁
災害時に患者の情報を提供できる第3者の範囲に、同性パートナーは含まれるのか?	個人情報保護法の解釈上、同性パートナーについては、災害時において、患者の個人情報を提供できる第三者に含まれる。
府立の病院における同性パートナーの面接・病状説明等の取り扱い?	厚生労働省の「ガイドライン」では、「現実に患者の世話をしている親族及びこれに準ずる者」を、病状説明の対象に加えている。府立の病院でも、ガイドラインに沿って、患者の意思を尊重して対応する。
大阪府住宅供給公社にも、血縁や婚姻以外の関係でも一緒に住めるといふハウスメアリング制度の導入を。	府住宅供給公社においても、来年度早期のハウスメアリング制度の実施に向け、契約内容に関する課題や大阪市内を含む対象団地の選定など、制度導入に向けた条件整理に取り組んでいく。

32

! Rainbow Talk 2006

同性パートナーの法的保障を考える

全国リレーシンポジウム —この街で、一緒に 生きていくために—

■ 全国リレーシンポジウムを実施

- 5会場で、約700名が参加(2/26~4/16)
 - 大阪138名、東京(1回目)210名、香川64名、札幌65名、東京(2回目)218名
- 各地の当事者団体が主催
- 当事者の声、法律等の専門家の声を聞く機会になった

33



- ILGA(国際レズビアン&ゲイ連盟)の世界会議に参加
 - 2006年3月27日～4月3日 ジュネーブにて
 - 世界のLGBT活動家 約220名が参加
 - 国連日本代表部を訪問
 - 政治の分科会で日本の状況をスピーチ

34



- “Act Against Homophobia”
 - 世界の約50カ国で実施されているIDAHO(International Day Against Homophobia)に参加。IDAHOは、毎年5月17日に、世界の各地でホモフォビアについて考えようという呼びかけ。
 - 当事者だけでなく、上野千鶴子さん、小熊英二さん、辛淑玉さん等の著名人からも応援メッセージ
 - レインボーバンドの販売(9/17まで 300円/個)
 - ホームページ
<http://actagainsthomophobia.txt-nifty.com/blog/>

35

「虹色」の社会とは

- 虹の色のような人々の多様性が尊重される社会
 - 性という根源的なことにも、自己決定が尊重される社会
 - 誰もがありのままの自分を隠さずに、安心して自分らしく暮らせる社会
 - 「違い」を「豊かさ」に変えることのできる社会
- マイノリティが生きやすい社会をつくることは、多くの
人にとっても生きやすい社会をつくることにつなが
っている

36

最後に 3つのお願い

- 人口の数%は性的マイノリティ。学校、家庭、職場で、すでに、あなたとともに生きている。会う人が、もしかしたら性的マイノリティかもしれないという思いを持って対応して下さい。
- マイノリティの問題は社会の問題。自分とは関係ないと思わずに、是非、この問題に興味を持ち続け、偏見や差別の解消に力を貸して下さい。
- この問題について、周囲の人と話をしてみてください。偏見や差別は、よく分からないものへと向けられます。あなたの周りから正しい知識を広げて下さい。

37